



平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 株式会社C&Gシステムズ 上場取引所 東
 コード番号 6633 URL http://www.cgsys.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)塩田 聖一
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理統括部部长 (氏名)大野 聡太郎 (TEL) 03(6864)0777
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日~平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	2,087	△4.2	233	3.6	257	6.8	143	4.7
28年12月期第2四半期	2,179	△7.1	225	△20.7	241	△17.1	137	△31.9

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 166 百万円 (49.7%) 28年12月期第2四半期 111 百万円 (△53.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	14.67	—
28年12月期第2四半期	14.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	4,454	2,362	52.2
28年12月期	4,299	2,326	52.8

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 2,325 百万円 28年12月期 2,268 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
29年12月期	—	0.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日~平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,217	△5.1	385	△5.4	419	△4.3	437	80.3	44.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) ー、除外 一社(社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年12月期2Q	9,801,549株	28年12月期	9,801,549株
29年12月期2Q	182株	28年12月期	182株
29年12月期2Q	9,801,367株	28年12月期2Q	9,801,465株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、平成29年8月24日(木)にアナリスト向け説明会を開催する予定です。

この説明会の動画については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは当第2四半期連結累計期間において、CAD/CAMシステム等事業では、東京にて開催された「INTERMOLD2017」(第28回金型加工技術展)に出展、4月にリリースした金型用3次元CAMシステム「CAM-TOOL」の最新バージョンをはじめとする主力CAD/CAM製品の紹介および当社製品で実現する付加価値の高い加工技術や金型設計作業の効率化を提案しました。「CAM-TOOL」の最新バージョンでは、新ストック演算による形状再現性の強化および前バージョンのオプション機能として開発した金型用モデリング作業を大幅短縮する「サーフェスプラス」に新たな機能を追加しました。また、国内外において販売パートナーとなる販社および生産財メーカー等との当社製品拡販のためのイベント共催を積極的に展開し、市場への認知度拡大を図るとともに販売代理店との協力関係強化に努めたほか、既存ユーザに対しては顧客サービス向上に伴う保守契約率の維持向上により着実に収益を伸ばし、前年同四半期と比較して増収増益で推移しました。

金型製造事業では、平成28年第3四半期以降の受注状況が低調に推移したことから、当第2四半期連結累計期間の業績については減収減益となりましたが、北米での自動車関連メーカーを中心とするニーズが堅調に推移する中、新たな顧客開拓を目指し下期以降の売上につなげるための受注活動を行ってきました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は、金型製造事業の減収の影響により売上高20億87百万円(前年同四半期比4.2%減)となりました。利益面につきましては、営業利益2億33百万円(前年同四半期比3.6%増)、経常利益2億57百万円(前年同四半期比6.8%増)となりました。また親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期と比較して法人税等が増加したことに伴い1億43百万円(前年同四半期比4.7%増)となりました。

事業セグメント別では、CAD/CAMシステム等事業の売上高は18億3百万円(前年同四半期比2.9%増)、セグメント利益は2億4百万円(前年同四半期比17.5%増)となりました。国内では平成29年2月にリリースした金型用2次元・3次元融合型ハイブリッドCAD/CAMシステム「EXCESS-HYBRID II V2.1」の販売が好調に推移したほか、製造業向け政府補助金関連の販売およびOEM関連の売上増加が収益に貢献しました。また保守売上では高い保守契約率を維持し上期を通して堅調に推移しました。海外における製品販売はインドネシア・ベトナム等の地域で堅調に推移、タイでは前年同四半期比で売上は減少したものの従来と比較して利益率の高い製品に販売がシフトしたことで利益は微増しました。一方中国では、本年度より代理店を通しての販売に切り替えたことに加え昨年伸長した「EXCESS-HYBRID II」の販売が本年度は低調だった影響もあり売上は減少しましたが、人件費等の販管費が削減されたことなどから営業利益率は改善しました。

金型製造事業の売上高は2億83百万円(前年同四半期比33.6%減)、セグメント利益は29百万円(前年同四半期比43.1%減)となりました。平成28年下期の受注状況が低調に推移したことが影響し、好調であった前年同四半期との比較では減収減益となりましたが、業績は想定通りの推移となっております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1億55百万円増加し、44億54百万円となりました。主な増加要因は現金及び預金1億77百万円、主な減少要因は受取手形及び売掛金42百万円です。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比較して1億19百万円増加し、20億92百万円となりました。主な増加要因は前受金1億26百万円です。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して36百万円増加し、23億62百万円となりました。主な増加要因は親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加1億43百万円、主な減少要因は非支配株主持分21百万円および配当による利益剰余金の減少98百万円です。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」)は、前第2四半期連結累計期間末と比較して3億83百万円増加し、20億26百万円となりました。なお、前連結会計年度末と比較して1億98百万円増加しております。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金は3億66百万円の増加(前年同四半期連結累計期間は2億99百万円の増加)となり、前年同四半期連結累計期間と比較して67百万円の増加となりました。

主な増加要因は税金等調整前四半期純利益2億57百万円(前年同四半期連結累計期間は2億41百万円)および減価償却費79百万円(前年同四半期連結累計期間は60百万円)によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金は26百万円の減少(前年同四半期連結累計期間は1百万円の増加)となり、前年同四半期連結累計期間と比較して28百万円の減少となりました。

主な増加要因は定期預金の払戻による収入1億17百万円(前年同四半期連結累計期間は1億28百万円の収入)、主な減少要因は定期預金の預入による支出95百万円(前年同四半期連結累計期間は89百万円の支出)、無形固定資産の取得による支出33百万円(前年同四半期連結累計期間は21百万円の支出)および保険積立金の積立による支出3百万円(前年同四半期連結累計期間は12百万円の支出)によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金は1億30百万円の減少(前年同四半期連結累計期間は1億17百万円の減少)となり、前年同四半期連結累計期間と比較して12百万円の減少となりました。

主な減少要因は配当金の支払いによる支出1億29百万円(前年同四半期連結累計期間は1億16百万円の支出)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期の連結業績予想につきましては、平成29年2月10日付「平成28年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,932,275	2,110,100
受取手形及び売掛金	748,677	706,065
たな卸資産	41,627	50,596
その他	149,370	151,270
貸倒引当金	△3,596	△1,014
流動資産合計	2,868,355	3,017,017
固定資産		
有形固定資産	231,686	234,800
無形固定資産	87,173	60,168
投資その他の資産		
投資有価証券	136,077	164,767
投資不動産(純額)	411,877	407,265
保険積立金	429,377	433,154
その他	150,449	149,750
貸倒引当金	△15,591	△11,991
投資その他の資産合計	1,112,189	1,142,946
固定資産合計	1,431,050	1,437,915
資産合計	4,299,405	4,454,932
負債の部		
流動負債		
買掛金	53,415	55,519
未払法人税等	120,006	103,834
前受金	615,757	741,920
その他	203,345	160,005
流動負債合計	992,525	1,061,280
固定負債		
役員退職慰労引当金	134,776	140,289
退職給付に係る負債	730,540	781,965
その他	115,053	108,614
固定負債合計	980,370	1,030,869
負債合計	1,972,896	2,092,149

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	125,000	125,000
利益剰余金	1,617,129	1,662,910
自己株式	△86	△86
株主資本合計	2,242,043	2,287,824
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,904	28,626
為替換算調整勘定	17,214	9,317
その他の包括利益累計額合計	26,119	37,943
非支配株主持分	58,346	37,015
純資産合計	2,326,509	2,362,782
負債純資産合計	4,299,405	4,454,932

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	2,179,647	2,087,034
売上原価	864,639	774,500
売上総利益	1,315,008	1,312,533
販売費及び一般管理費	1,089,543	1,078,878
営業利益	225,464	233,654
営業外収益		
受取利息	592	476
受取配当金	2,017	2,002
不動産賃貸料	43,774	43,638
貸倒引当金戻入額	5,300	6,182
その他	2,214	6,991
営業外収益合計	53,900	59,292
営業外費用		
支払利息	216	65
不動産賃貸費用	35,394	34,968
その他	2,715	424
営業外費用合計	38,327	35,457
経常利益	241,037	257,488
税金等調整前四半期純利益	241,037	257,488
法人税、住民税及び事業税	81,050	111,522
法人税等調整額	1,548	△11,194
法人税等合計	82,598	100,328
四半期純利益	158,438	157,160
非支配株主に帰属する四半期純利益	21,115	13,365
親会社株主に帰属する四半期純利益	137,323	143,794

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	158,438	157,160
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,529	19,721
為替換算調整勘定	△45,685	△10,380
その他の包括利益合計	△47,214	9,341
四半期包括利益	111,223	166,501
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	97,423	155,618
非支配株主に係る四半期包括利益	13,799	10,883

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	241,037	257,488
減価償却費	60,332	79,816
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,300	△6,182
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,462	5,512
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	46,771	51,399
受取利息及び受取配当金	△2,610	△2,479
支払利息	216	65
受取賃貸料	△43,774	△43,638
その他の営業外損益(△は益)	30,492	30,356
売上債権の増減額(△は増加)	△25,151	44,674
たな卸資産の増減額(△は増加)	42,021	△9,926
仕入債務の増減額(△は減少)	24,777	2,901
前受金の増減額(△は減少)	16,081	120,073
未払金の増減額(△は減少)	△20,977	△23,906
その他	△40,412	△21,242
小計	328,965	484,913
利息及び配当金の受取額	2,608	2,479
利息の支払額	△216	△65
賃貸料の受取額	43,774	43,638
法人税等の支払額	△45,635	△134,401
その他	△30,492	△30,347
営業活動によるキャッシュ・フロー	299,004	366,217

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△89,880	△95,640
定期預金の払戻による収入	128,318	117,380
有形固定資産の取得による支出	△5,583	△15,332
有形固定資産の売却による収入	-	1,943
無形固定資産の取得による支出	△21,153	△33,131
敷金及び保証金の差入による支出	△701	△1,120
敷金及び保証金の回収による収入	2,732	3,271
保険積立金の積立による支出	△12,127	△3,777
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,605	△26,406
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△503	△524
配当金の支払額	△97,139	△98,285
非支配株主への配当金の支払額	△19,761	△31,419
財務活動によるキャッシュ・フロー	△117,404	△130,229
現金及び現金同等物に係る換算差額	△36,598	△11,019
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	146,606	198,560
現金及び現金同等物の期首残高	1,496,555	1,828,267
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,643,162	2,026,828

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	CAD/CAM システム等事業	金型製造事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,753,519	426,127	2,179,647	—	2,179,647
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,753,519	426,127	2,179,647	—	2,179,647
セグメント利益	173,884	51,579	225,464	—	225,464

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	CAD/CAM システム等事業	金型製造事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,803,926	283,108	2,087,034	—	2,087,034
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,803,926	283,108	2,087,034	—	2,087,034
セグメント利益	204,316	29,338	233,654	—	233,654